

クサガメ幼体のウシガエルによる捕食事例

谷口真理・山崎貴良

654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Predation by *Rana catesbeiana* on a juvenile of *Muremys reevesii*

By Mari TANIGUCHI and Takayoshi YAMAZAKI

KOBE-Suma aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

ウシガエル *Rana catesbeiana* は、本来アメリカ合衆国のノバスコシア州からフロリダ州中部、西ウィスコンシン州に分布している(Graves and Anderson, 1987)。本種は世界各地に分布を広げており(Graves and Anderson, 1987)、日本においても、各地の河川や湖沼に侵入し、分布が拡大している外来種である(太田, 2002)。本種は、原産地ではカタツムリ、昆虫、ザリガニ、魚、カエル、オタマジャクシ、爬虫類、時折哺乳類や鳥類などさまざまな動物を捕食することが知られている(Graves and Anderson, 1987)。日本に侵入したウシガエルもさまざまな動物を捕食するとされ、平井(2006a; b; 2008)はアカハライモリ、ニホンアカガエルやナゴヤダルマガエルなどの被食を報告している。今回、著者らは淡水カメ調査中に捕獲したウシガエルの胃内容物を調べたところ、クサガメが確認されたので、ここに報告する。

ウシガエルは2012年7月14日、兵庫県明石市大久保町大窪の喧嘩池で、アナゴなどの魚類を捕獲する際に用いられる網(縦30cm×横30cm×高60cm)を用いて捕獲した。網は夕方に池内に設置し、翌日の朝回収した。ウシガエルは頭胴長106.3mm、体重105.0gの雄であった。持ち帰り、開腹によって胃内容物を調べたところ、クサガメの幼体が確認された(図1)。捕食されていたクサガメは腹甲長37.5mm、背甲長36.9mmの幼体であった。クサガメのふ化幼体の背甲長は24.6–36.6mmであり(深田・石原, 1974)、今回、ウシガエルの胃から発見されたクサガメはふ化直後ではなく、数日は経過していると考えられた。日本におけるウシガエルの生態は、不明な部分が多いが、日本各地に分布を拡大させている。それに伴い、少なからずクサガメなどの淡水カメの幼体は本種による捕食圧を受けていると考えられた。



図1. ウシガエルの胃から発見されたクサガメの幼体

引用文献

Graves, B.M., and S.H. Anderson. 1987. Habitat suitability index models: bullfrog. U.S. Fish Wildl.

Serv. Biol. Rep. 82(10.138). 22p.

平井利明. 2006a. ウシガエルによるニホンアカガエル雄成体の捕食. 爬虫両生類学会報 2006(1):15-16

平井利明. 2006b. ウシガエルによるアカハライモリ幼体の捕食. 爬虫両生類学会報 2006(1):16-17

平井利明. 2008. ウシガエルによるナゴヤダルマガエル雄成体の捕食例. 爬虫両生類学会報 2008(1):6-7

深田祝・石原重厚. 1974. クサガメの孵化時期. 爬虫両棲類学雑誌. 1974(5):45-47

太田英利. 2002. ウシガエル. p.106. 日本生態学会(編). 外来種ハンドブック. 書人書館, 東京.